

本年の自給飼料生産が終了(綾部)

畜産センター(綾部)では、良質な自給飼料を確保するため、7.8ヘクタールのほ場で牧草(イタリアンライグラス、スーダングラス)と飼料作物(飼料用トウモロコシ)を栽培しています。

今年は、6月の日照不足や7~8月の多雨の影響が心配されましたが、早生や中生、晩生の品種の組み合わせや播種期の工夫でほぼ例年並みの収穫が得られ、イタリアンライグラス86トン(312ロール)、スーダングラス54トン(165ロール)と飼料用トウモロコシの149トン(459ロール)の合計289トン936個のロールサイレージを生産しました。

これらの自給飼料は、安心・安全な生乳生産や生産農家への指導に活用します。



トウモロコシの収穫



ロールの成形(イタリアンライグラス)



生産したラップサイレージ

畜産センター